

台湾の農業と農耕地雑草

竹松哲夫, 近内誠登, 竹内安智, 一前宣正

Agriculture and Crop-land Weeds in Taiwan

Tetsuo TAKEMATSU, Makoto KONNAI, Yasutomo TAKEUCHI and Nobumasa ICHIZEN

Résumé

Taiwan has an acreage of 3.6 million hectares, the farming area of which is 900,000 ha., equivalent to 25% of the total land area. Two of the climatic factors which determine the variety and growth of crops and arable land weeds are temperature and precipitation.

In Taiwan, higher temperatures and much precipitation last for 8—10 months under sub-tropical and tropical conditions, and for 2—4 months under temperate conditions. Under these circumstances, there are many crops of tropical and sub-tropical origin. Rice, sugar cane, corn, pineapple, banana, citrus, tea, cassava and sisal hemp are crops which readily adapt to higher temperatures and much precipitation.

Arable land weeds grow profusely during the summer months, due to the higher temperatures and precipitous conditions. The conditions are prime for germination and last for an extremely long period here as compared to the summer season in the temperate zone. Summer weeds remain even after the cooler temperatures in the temperate zone begin. However, many of the major crops are big and woody enough to compete with weeds ecologically and agriculturally. Herbicides can be applied easily.

Fifty percent of the farming acreage of Taiwan consists of paddy fields. The farming population amounts to 6 million. The limited farmland of Taiwan is utilized quite versatily. Mechanization, irrigation (artificial), breeding improvement, and utmost control of pests and weeds have helped make Taiwan a traditionally food-surplus country.

So, land utility is 200% ; 3—5 rotation croppings are practiced with 2 croppings of rice, followed by soybean, vegetables, tobacco, rape, etc. These techniques of intensive culture crucially affect the arable land weeds : (A) Greater frequencies of plowing of land subsequent to the multi-cropping cut off the life cycle of the weeds. (B) Alternation of submerged and upland conditions twice a year sets limits to the weed propagation specifically. Only the weeds which are capable of adapting to these adverse conditions dominate as arable land weeds of Taiwan.

Under the circumstances, most of the arable land weeds in Taiwan are represented by annual weeds. Arable land weeds are as tabulated in Table 1. Weeds of Taiwan, including temperate and tropical weeds in abundance, are illustrated below as those to be controlled in paddy and upland fields, respectively. Total number of weeds in Taiwan reaches to 52 families, 187 genus and 323 species. Troublesome weeds are barnyardgrass, bulrush, arrowhead, smallflower-umbrellaplant and dendisio in the paddy field and vaseygrass, goose-grass, crabgrass, sprangletop, bermudagrass, meadowfoxtale, purple nutsedge, amaranthus, lambs-toung, polygonum sp., portulaca and oxalis in the upland field.

1. はじめに

筆者等はすでにソ連邦，中国，韓国，ブラジル，北アメリカの農業と農耕地雑草についてそれぞれの国の自然条件および農業の耕作実態と深く結びついている農耕地雑草について本学学術報告を通してその調査報告をつけてきた。今回は1981年6月に台湾雑草学会創立2周年記念講演を依頼された筆者の一人竹松による台湾農耕地雑草実地調査をもとに共同執筆者とともに台湾における農耕地雑草に関する文献も精査し本報告をとりまとめた。

2. 台湾の自然条件

台湾は面積360万haでわが国の約1/10，およそ九州位の広さをもっている。そのうち農耕地は約25%の90万haである。この農耕地に雑草が侵入し定着するためには雑草はまず第一にその土地の自然条件(気温，降雨量等)に適応しなくてはならない。いうまでもなく栽培農作物もまた同様である。自然条件のうち特に気温の推移と降雨量は農耕地雑草の種類を決定し，降雨量と相まって農耕地雑草の生育繁茂量を支配するものである。台湾の気候は北回帰線が島の中央を通過していることから分るように亜熱帯～熱帯性を示している。分りやすく一例をあげれば台北では年平均気温22.1°C，5～10月が23.3～28.4°Cを示して暑く亜熱帯的(夏季＝雨期)であるが12月～翌年3月までは20°C以下で温帯的(冬期＝乾期＝涼期)である。この気温の季節的な動きは日本では沖縄の那覇市がほとんど同じであり，海外では香港に類似している。ところで台湾農業の中心は台湾島をやや東に偏って南北に走る台湾山脈(最高の玉山(新高山)をはじめ3,000m以上の山が20有余もある)の西側の平野，台地，丘陵である。東海岸は勾配が急峻で断崖や峡谷となって太平洋に接しており，農業に適する平野は西海岸にくらべてきわめて少ない。農業地帯の西海岸の北半分の平地は水稻，丘陵地帯は茶・柑橘類，野菜類，花卉，バナナ，香水茅等が栽培されている。また西海岸の台中，台南両市を含む平野，丘陵地帯にはサトウキビ，水稻，バナナ，パイナップル，キャッサバ，サツマイモ，タバコ，アッサム茶，落花生，オカボ，イグサ等が栽培されている。冬期でも気温がかなり高く，日照もあるので全島を含めて水田裏作が盛んで野菜，コムギ，ナタネ，アマ，緑肥作物等の栽培が水稻2期作の後行われている。島の南端の近くでは最も暑い地区でサイザル麻，水稻，サツマイモ，サトウキビ，落花生が栽培されている。次に植物生育に関係の深い降雨量は脊梁山脈地帯においてはきわめて雨量が

多く年間3,000mm内外に達し，阿里山では4,400mmにも達しているが，平野丘陵地帯では1,500～2,000mmで地域によりかなりバラツキがみられる。しかし降水量としては植物生育に十分なものがある。例えば，台北では年平均降雨量は2,100mmでその季節的分配は5, 6, 7, 8月が200mm以上，4, 9月が180mm台，10月から少くなり11, 12, 1月は100mm以下となる。

3. 台湾の自然条件と農作物および農耕地雑草におよぼす影響

上述のように台湾の自然条件は高温多雨であり，短い涼期は温帯性を帯びる期間を含んでいる。この条件下での台湾農業の主力は高温多雨条件下の栽培作物である水稻，サトウキビ，トウモロコシ，パイナップル，バナナ，柑橘類，茶，サツマイモ，香水茅，タバコ，キャッサバ，サイザル麻等が重要作物である。いずれも熱帯～亜熱帯原産で高温多雨の条件に合うものばかりである。これらのうちトウモロコシ，サトウキビ，パイナップル，柑橘類，茶，キャッサバ，サイザル麻等は草丈が大きい大型の作物か，あるいは多年生の木本である。これは生態的にも栽培様式からみても農耕地雑草との競合に強く，また除草剤を使用し易い農作物である。水田裏作に多いサツマイモ，ダイズ，タバコ，ナタネ，コムギ，各種野菜類は冬季(涼季)における栽培が多く，雑草の種類が少なく繁茂量も残存夏草を含め比較的小さい。また高度な選択性除草剤もあるので将来その雑草対策は容易になると思われる。

次にこれらの農作物に混生する農耕地雑草におよぼす自然条件の影響をみると高温多雨のため夏季における雑草の生育繁茂は著しいものがある。さらに日本の短い夏と異なる点は雑草の生育期間がきわめて長く冬季が温暖なために周年にわたって雑草の発生がつづくことである。日本の場合は夏に繁茂した雑草が秋冷降霜で一朝にして死滅し冬草に移っていくが，台湾の夏草は大部分一年中生存することができる。このように台湾の自然条件は栽培植物はもとより農耕地雑草にとっても生長繁茂増殖にきわめて好適の条件といえることができる。

4. 台湾における人為的農業耕作条件の農耕地雑草におよぼす影響

台湾は国土が狭く僅か360万haの中に人口1,800万人(1981)が住んでいる。これは人口増加率が高いことと多数の大陸難民を受け入れた社会増によるといわれている。農耕地は90万ha弱で農業人口は1970年には40%であったが1980年には35%を下廻るようである。それでも農

業従事者の数は600万人といわれている。明らかに小農であり50a以下の農地保有農家が40%に達するという。しかしこのような条件下でも食糧剰余国としての古くからの伝統は堅く守られている。その方策は①農耕地の高度利用に徹することで今日耕地利用率は200%といわれ、水稲1～2期作の後に、サツマイモ、ダイズ、トウモロコシ、タバコ、野菜、アマ、ナタネ、コムギの三毛作は普通であり、水稲1～2期作の間に各種野菜、黄麻等の入る4毛作や5毛作まで行っている。②各種栽培作物の品種改良にきわめて積極的で新品種の育成、導入を図り、思い切った多肥栽培(317kg/haの投入を行い、日本を除くアジア各国中で最高)を行い、病虫害・雑草防除を高度に実施している。同時に農作物にとってきわめて重要なかんがい水利施設も発展させ耕地かんがい率は52%で日本(60%)に近いものがあり、さらに整備がつづいている。このような栽培技術高度化を可能にしたものは高い国民の教育水準と勤勉性とその基盤をなしている。その結果台湾農業の大黒柱である水稲作(作付面積の50%を占める)ではha当り収量は4ton(籾)を越えており熱帯～亜熱帯では最高の収量をあげている。その他の農作物についても同様なことがいえる。半面工業が急激に進展しており農業労働力が不足し、かつ高齢化するに伴い農業機械化が進み、現実の台湾農業は労働集約型から、近代的な資本集約的省力栽培に移行しつつある。さて以上のような農業の実態は台湾の農耕地雑草群落や草種にきわめて大きな影響を与えている。その第一は農耕地の多毛作による反転耕起回数が多いことである。農耕地雑草は耕起回数が多いほど増殖に支障を来すことになる。とくに一年のうち2回は湛水状態の水田であり、その後作が畑作になるという激しい田畑輪換方式の反復のため、この条件に適応した農耕地雑草だけが生き残ることになる。第二に多毛作と多肥を伴う田畑輪換方式および除草労働が集約的である条件は農耕地で最も厄介な多年生(単子葉、双子葉)雑草の生育と繁殖は生活環を断ち切られて著しく不利の条件となる。以上の結果、台湾の農耕地雑草をくわしく調査すると台湾の農業耕作条件に適応して生育し結実できる草種に限定されてくる。その大部分は一年生雑草であり、生長が速く、小さい状態でも短期間に増殖態勢に入り得る草種が多い。これらの適応した雑草には高温多雨でかつ肥培の十分行届いた農耕地は良い棲家である。したがって台湾の農耕地雑草は除草剤で制御しやすい一年生雑草が中心であり、加えて除草労働賃金が工業の発展とともに高騰化の傾向を示しており、何よりも高温多雨の台湾では除草作業はきわめて苦難の重労働である。以上を背景として全栽培作物に亘っ

て除草剤の利用がよいよ活発である。

5. 台湾の農耕地雑草

台湾の農耕地雑草は表1の通りである。表1には52科323草種が認められる。これだけ多くの草種がみられるのは台湾の雑草は温帯から熱帯までの豊富な農耕地雑草を含むためであるが、主力草種は暖帯～亜熱帯、熱帯の農耕地雑草で占められている。そしてそれらの雑草の繁茂量はきわめて大きい。その中でもイネ科が全島にわたって良く生育し78種に達し厄介な雑草の主力を占めている。ついでキク科(46種)が多いが台湾の農耕地条件ではキク科はそれほど重要な雑草は少ない。カヤツリグサ科(28種)、ヒユ科(13種)、タデ科(13種)、マメ科(21種)、ツルクサ科(7種)、アカザ科(6種)、アオイ科(7種)等である。わが国との共通雑草は301種に及んでいる。これらの共通種は沖縄、九州、四国、小笠原諸島等をはじめわが国南部の雑草と重複するものが多い。先に述べたように水田地帯は多毛作により草種は限定されているが畑作物の多い丘陵、台地、山地等の雑草を包含するために全体としてかなり多数の草種が認められることになる。1980年林寶鑫氏によると台湾の雑草中、防除対象となる水田雑草はノビエ(イネ科)、タマガヤツリ、コゴメガヤツリ、ホタルイ(カヤツリグサ科)、オモダカ、ウリカワ(オモダカ科)、コナギ(ミズアオイ科)、デンジソウ(デンジソウ科)であるとしている。このうち多年生はオモダカ科とデンジソウ科のみである。これらの多年生は台湾の水田耕起回数および多毛作条件でも塊茎や根茎が生存できる条件(涼季にも日本の冬のように耕起による露出で凍死しない)が有利にはたっている。また畑雑草はキシウスズメノヒユ、オガサワラスズメノヒユ、オヒシバ、アゼガヤ、メヒシバ類、ギョウギンバ、スズメノテッポウ等イネ科がきわめて多い。次いでハマスゲ(カヤツリグサ科)、カッコウアザミ、チチコグサモドキ(キク科)、ハリビユ、アオビユ、ツルノゲイトウ(ヒユ科)、コアカザ(アカザ科)、サナエタデ(タデ科)、オジギソウ(マメ科)、スベリヒユ(スベリヒユ科)、ウシハコベ(ナデシコ科)、カタバミ(カタバミ科)が防除の主対象となっている。水田重要雑草の防除はウリカワ、オモダカ、デンジソウであるがこれらに特効性をもつ除草剤も導入されており今後の防除対策は容易になるものと考えられる。畑地雑草ではハマスゲを除いては防除し易い雑草が多い。このように台湾の農耕地雑草は多毛作による耕起回数の増加、田畑輪換が通常化していることから防除対策は比較的容易であるといえる。また台地、丘陵地、山地に多い茶、柑橘、バナナ、パイナップル、キャッサ

バ、サイザル麻等は雑草との競合に強く除草剤を使用し易い栽培方法であるのでその雑草防除対策も困難ではない。今後新しい除草剤を導入し、それらを合理的に体系使用することで台湾の農耕地雑草を制御することは容易

と考えられる。終りに台湾の雑草調査および文献蒐集に多大の協力を頂いた台湾雑草学会理事長陳玉麟台湾大学教授に深く感謝の意を表する。

Table 1. Crop land weeds in Taiwan

Family	Genus	Scientific Name	Chinese Name	Japanese Name
Compositae (キク科)	スマダイコン	<i>Adenostemma lavenia</i>	下田菊	スマダイコン
	Ageratum	<i>Ageratum conyzoides</i>	藿香薊	カッコウアザミ
		<i>A. houstonianum</i>	紫花藿香薊	オオカッコウアザミ
	ヨモギ	<i>Artemisia capillaris</i>	茵陳蒿	カワラヨモギ
		<i>A. princeps</i>	艾	ヨモギ
	ヨメナ	<i>Aster yomena</i>	馬 蘭	ヨメナ
	センダングサ	<i>Bidens bipinnata</i>	鬼針草	コハツセンダングサ
		<i>B. pilosa</i> var. <i>minor</i>	咸鹽草	シロノセンダングサ
	ツルハダマ	<i>Blumea balsamifera</i>	艾納香	カイノウコウ
		<i>B. lacera</i>	生毛將軍	ヤエヤマコウゾリナ
		<i>B. laciniata</i>	大頂紅	サケバコウゾリナ
	トキンソウ	<i>Centipeda minima</i>	石胡荽	トキンソウ
	アザミ	<i>Cirsium arvense</i>	小 薊	ノアザミ
	ブクリョウサイ	<i>Dichrocephala bicolor</i>	魚芥菜	ブクリョウサイ
	タカサブロウ	<i>Eclipta prostrata</i>	鱧 腸	☆タカサブロウ
	Elephantopus	<i>Elephantopus mollis</i>	毛地膽草	シロバナイガコウゾリナ
		<i>E. scaber</i>	地膽草	ミスミグサ
		<i>E. spicatus</i>	穂花地膽草	ホザキイガコウゾリナ
		<i>E. tomentosa</i>	毛連菜	
	ウスベニニガナ	<i>Emilia sonchifolia</i>	紫背草	ウスベニニガナ
	Epaltes	<i>Epaltes australis</i>	大吐金菊	
	タケダグサ	<i>Erechtites valerianaefolia</i>	昭和草	シマボロギク
	ムカンヨモギ	<i>Erigeron bonariensis</i>	野塘蒿	アレチノギク
		<i>E. canadensis</i>	加拿大蓬	ヒメムカンヨモギ
	ヒヨドリバナ	<i>Eupatorium formosanum</i>	台湾沢蘭	タイワンヒヨドリ
	ハハコグサ	<i>Gnaphalium affine</i>	佛耳草	ハハコグサ
		<i>G. purpureum</i>	擬青天白地	チチコグサモドキ
	キツネアザミ	<i>Hemistepta lyrata</i>	泥胡菜	キツネアザミ
	ニガナ	<i>Ixeris shinensis</i> subsp. <i>strigosa</i>	兔兒草	タカサゴソウ
		<i>I. laevigata</i> var. <i>oldhamii</i>	刀傷草	アツバニガナ
	アキノノゲシ	<i>Lactuca formosana</i>	台湾黃瓜菜	タイワンニガナ
		<i>L. indica</i>	山萵苣	アキノノゲシ
	Pluchca	<i>Pluchca indica</i>	關苞菊	ヒラギギク
メナモミ	<i>Siegesbeckia orientalis</i>	稀 籜	ツクシメナモミ	
Soliva	<i>Soliva anthemifolia</i>	假吐金菊	☆シマトキンソウ	
	<i>Sonchus arvensis</i>	苦麻菜	ハチジョウナ	
ノゲシ	<i>S. oleraceus</i>	苦買菜	ノゲシ	
	<i>Synedrella nodiflora</i>	黒黧歸	フシザキソウ	
Tridax	<i>Tridax procumbens</i>	燈籠草	コトブキギク	
ヤンバルヒゴタイ	<i>Vernonia cinerea</i>	假鹼蝦	ヤンバルヒゴタイ	
	<i>V. patula</i>	鹼蝦花	レイナンノギク	

Family	Genus	Scientific Name	Chinese Name	Japanese Name
	ハナグルマ	<i>Wedelia chinensis</i>	黄花田蘿草	クマノギク
		<i>W. robusta</i>	長柄菊	オオハマグルマ
	オナモミ	<i>Xanthium strumarium</i>	藜 耳	オナモミ
	オニタビラコ	<i>Youngia japonica</i>	黄爪菜	オニタビラコ
Campanulaceae (キキョウ科)	ミゾカクシ Sphenoclea	<i>Lobelia chinensis</i> <i>Sphenoclea Zeylanica</i>	半邊蓮 尖瓣花	アゼムシロ ナガボノウルシ
Rubiaceae (アカネ科)	Borreria ヤエムグラ	<i>Borreria hispida</i> <i>Galium spurium</i> var. <i>echinospermum</i>	鴨舌廣 豬殃殃	ヤエムグラ
	フタバムグラ	<i>Hedyotis diffusa</i>	珠子草	フタバムグラ
	ヘクソカズラ	<i>Paederia chinensis</i>	鷄屎藤	ヘクソカズラ
Plantaginaceae (オオバコ科)	オオバコ	<i>Plantago major</i>	車前草	セイヨウオオバコ
Scrophulariaceae (ゴマノハグサ科)	Bacopa アブノメ ウリクサ	<i>Bacopa monniera</i> <i>Dopatrium junceum</i> <i>Ilysanthes aristata</i> <i>I. serrata</i> <i>Vandellia crustacea</i>	過長沙 蝨眼草 定經草 鋸葉定經草 藍猪耳	オトメアゼナ アブノメ スズメノトウガラシ ウリクサ
	アゼナ	<i>Lindernia cordifolia</i> <i>L. pyxidaria</i>	心葉母草 母 草	シマウリクサ アゼナ
	サギゴケ	<i>Mazus japonicus</i>	大角定經草	トキワハゼ
	Scoparia	<i>Scoparia dulcis</i>	金荔枝	セイタカカナビキノウ
	クワガタソウ	<i>Veronica undulata</i>	水苦買	カワジシャ
Solanaceae (ナス科)	ホオズキ ナス	<i>Physalis angulata</i> <i>Solanum biflorum</i> <i>S. capsicastrum</i> <i>S. indicum</i> <i>S. nigrum</i> <i>S. verbascifolium</i>	苦蕒草 金吊鈕 秋珊瑚 黄水茄 龍 葵 山烟草	センナリホオズキ メジロホオズキ テンジクナスビ イスホオズキ ヤンバルナスビ
Labiatae (シソ科)	ブソロイバナ トウバナ	<i>Anisomelis indica</i> <i>Clinopodium chinensis</i> subsp. <i>grandifolium</i> var. <i>parviflorum</i> <i>C. gracile</i>	臭天黃 風輪菜 光風輪	ブソロイバナ クルマバナ トウバナ
	Hyptis	<i>Hyptis drevipes</i> <i>H. rhomboides</i> <i>H. suaveolens</i>	狗骨硝 頭花香苦草 假走馬風	ナントウイガニガクサ イガニガクサ ニオイイガクサ
	メハジキ	<i>Leonurus sibiricus</i>	益母草	メハジキ
	Leucas	<i>Leucas mollissima</i> var. <i>chinensis</i>	金錢薄荷	ヤンバルクルマバナ
	ウツボグサ	<i>Prunella vulgaris</i> subsp. <i>asiatica</i>	夏枯草	ウツボグサ
	アキギリ	<i>Salvia plebia</i>	薺 寧	ミゾコウジュ
	タツナミソウ	<i>Scutellaria barbata</i>	並頭草	
Verbenaceae (クマツヅラ科)	クサギ コウオウカ イワダレソウ	<i>Clerodendron paniculatum</i> <i>Lantana camara</i> <i>Lippia nodiflora</i>	龍船花 馬纓丹 過江藤	リュウセンカ ランタナ イワダレソウ

Family	Genus	Scientific Name	Chinese Name	Japanese Name
	Stachytarpheta クマツヅラ	<i>Stachytarpheta jamaicensis</i> <i>Verbena officinalis</i>	馬穂木 馬鞭草	フトボナガボソウ クマツヅラ
Boraginaceae (ムラサキ科)	ハナイバナ Heliotropium キュウリグサ	<i>Bothriospermum tenellum</i> <i>Heliotropium indicum</i> <i>Trigonotis elevato-venosa</i>	細曇子草 狗尾虫草 附地菜	ハナイバナ ナンバンルリソウ ウチダシタヒラコ
Convolvulaceae (ヒルガオ科)	セイヨウヒルガオ サツマイモ アサガオ ルコウソウ	<i>Convolvulus parviflorus</i> <i>Ipomoea cairica</i> <i>I. hardwichii</i> <i>I. nil</i> <i>I. pes-caprae</i> subsp. <i>brasiliensis</i> <i>I. pestigridis</i> <i>I. sinensis</i> <i>I. tomentosa</i> <i>Pharbitis congesta</i> <i>Quamoclit pennata</i>	小旋花 絨葉牽牛 猫牽牛 牽牛花 馬鞍藤 九瓜藤 白花牽牛 絨毛牽牛 野牽牛花 蔦 蘿	フサヒルガオ モミジヒルガオ ガクアサガオ アサガオ グンバイヒルガオ キクザキアサガオ ネコアサガオ ノアサガオ ルコウソウ
Primulaceae (サクラソウ科)	ルリハコベ	<i>Anagallis arvensis</i> forma <i>coerulea</i>	火金姑	ルリハコベ
Umbelliferae (セリ科)	ミシマサイコ ツボクサ チドメグサ セリ ヤブジラミ	<i>Bupleurum falcatum</i> <i>Centella asiatica</i> <i>Hydrocotyle formosana</i> <i>Oenanthe javanica</i> <i>Torilis japonica</i>	柴胡 雷公根 台湾蜡穀草 水芹菜 竊衣	ミシマサイコ ツボクサ セリ ヤブジラミ
Onagraceae (アカバナ科)	チョウジタデ	<i>Ludwigia adscendens</i> var. <i>stipulacea</i> <i>L. prostrata</i> <i>L. pubescens</i> var. <i>villosa</i>	水龍 喇叭草 水丁香	ミズキンバイ チョウジタデ キダチキンバイ
Lythraceae (ミソハギ科)	ヒメミソハギ キカシグサ	<i>Ammannia baccifera</i> <i>A. multiflora</i> <i>Rotala indica</i> var. <i>uliginosa</i> <i>R. rotundifolia</i>	水苧草 多花水苧草 印度水猪母乳 水猪母乳草	シマミソハギ ヒメミソハギ キカシグサ ホザキキカシグサ
Elatinaceae (ミゾハコベ科)	ミゾハコベ	<i>Elatine triandra</i> var. <i>pedicellate</i>	溝繁縷	ミゾハコベ
Guttiferae (オトギリソウ科)	ヒメオトギリ	<i>Sarothra japonica</i>	地耳草	ヒメオトギリ
Sterculiaceae (アオギリ科)	ノジアオイ Waltheria	<i>Melochia corchorifolia</i> <i>Waltheria americana</i>	野路葵 蛇婆子	ノジアオイ
Callitrichaceae (アワゴケ科)	アワゴケ	<i>Callitriche verna</i>	水馬齒	ミゾハコベ
Malvaceae (アオイ科)	オクラ Malvastrum キンゴジカ	<i>Abelmoschus moschatus</i> <i>Malvastrum coromandelianum</i> <i>Sida acuta</i> <i>S. cordifolia</i>	秋菘 苦麻賽菘 細葉金午時花 円葉金午時花	リュウキュウトロロアオイ エノキアオイ ホソバキンゴジカ

Family	Genus	Scientific Name	Chinese Name	Japanese Name
		<i>Sida javensis</i>	金午時唐草	
		<i>S. mysorensis</i>	薄葉金午時花	
		<i>S. rhombifolia</i>	金午時花	キンゴジカ
Vitaceae (ブドウ科)	ノブドウ ヤブガラシ Tetrastigma	<i>Ampelopsis brevipedunculata</i> <i>Cayratia japonica</i> <i>Tetrastigma umbellata</i>	蛇葡萄 虎葛 台湾崖爬藤	ノブドウ ヤブガラシ
Euphorbiaceae (トウダイグサ科)	エノキグサ Agyneia トウダイグサ コミカンソウ	<i>Acalypha australis</i> <i>A. Matsudai</i> <i>Agyneia bacciformis</i> <i>Euphorbia formosana</i> <i>E. hirta</i> <i>E. serrulata</i> <i>E. thymifolia</i> <i>Phyllanthus niruri</i> <i>P. urinaria</i>	鉄苧草 松田鉄苧草 桃実草 細鋸葉地錦 乳仔草 八卦草 紅乳草 小返魂 葉下株	エノキグサ キダチダイゲキ シマニシキソウ ミヤコジマニシキソウ イリオモテニシキソウ キダチコミカンソウ コミカンソウ
Oxalidaceae (カタバミ科)	カタバミ	<i>Oxalis corniculata</i> <i>O. corymbosa</i>	酢醬草 紫花酢醬草	カタバミ ムラサキカタバミ
Leguminosae (マメ科)	クサネム ササハギ カワラケツメイ タスキマメ ススビトハギ ハギカズラ コマツナギ ハギ ウマゴヤシ	<i>Aeschynomene indica</i> <i>Alysicarpus nummularifolius</i> <i>Cassia obtusifolia</i> <i>C. occidentalis</i> <i>Crotalaria acicularis</i> <i>C. assamica</i> <i>C. chinensis</i> <i>C. ferruginea</i> <i>C. mucronata</i> <i>C. saltiana</i> <i>C. sessiliflora</i> <i>C. verrucosa</i> <i>Desmodium heterophyllum</i> <i>D. triflorum</i> <i>D. zonatum</i> <i>Galactia tenuiflora</i> <i>Indigofera hirsuta</i> <i>Lespedeza cuneata</i> <i>Medicago sativa</i>	合 蒴 山土豆 決 明 望江南 針狀葉鈴豆 大猪屎青 台湾野百合 野花生 黄野百合 黄野百合 野百合 大葉野百合 鑊葉山馬蝗 蠅翼草 单葉拿身草 小花乳豆 毛馬棘 鉄掃帚 紫花苜蓿	クサネム マルバタケハギ エビスグサ ハブソウ ヒメタスキマメ コガネタスキマメ ナンバンタスキマメ キバナハギ タスキマメ オオバタスキマメ カワリバマキエハギ ハイマキエハギ コバナハギカズラ タスキコマツナギ メドハギ ムラサキウマゴヤシ
Luguminosae (マメ科)	ネムノキ	<i>Mimosa invisa</i> <i>M. pudica</i>	大含羞 含羞草	オジギソウ
Rosaceae (バラ科)	ヘビイチゴ	<i>Duchesnea indica</i> var. <i>leucocephala forma japonica</i>	蛇 莓	ヘビイチゴ
Crassulaceae (ベンケイソウ科)	キリンソウ	<i>Sedum formosanum</i>	台湾仏甲草	ハママンネングサ
Cruciferae (アブラナ科)	アブラナ ナズナ	<i>Brassica Kaber</i> <i>Capsella bursa-pastoris</i>	齋 菜	ナズナ

Family	Genus	Scientific Name	Chinese Name	Japanese Name
	タネツケバナ	<i>Cardamine flexuosa</i>	蔊 菜	タネツケバナ
	マメグンバイナズナ	<i>Lepidium virginicum</i>	小団扇蔊	マメグンバイナズナ
	イヌガラシ	<i>Rorippa cantoniensis</i>	広東蔊蔊	コイヌガラシ
		<i>R. indica</i>	山芥菜	イヌガラシ
Ranunculaceae (キンポウゲ科)	キンポウゲ	<i>Ranunculus cantoniensis</i> subsp. <i>cantoniensis</i>	毛 茛	ケキツネノボタン
		<i>R. sceleratus</i>	石龍芮	タガラシ
		<i>R. sieboldii</i>	毛 茛	シマキツネノボタン
Ceratophyllaceae (マツモ科)	マツモ	<i>Ceratophyllum demersum</i>	金魚藻	マツモ
Caryophyllaceae (ナデシコ科)	ヤンバルハコベ	<i>Drymaria cordata</i> var. <i>pacifica</i>	菁芳草	オムナグサ
	ウシハコベ	<i>Malachium aquaticum</i>	鶯児腸	ウシハコベ
	ハコベ	<i>Stellaria alsine</i> var. <i>undulata</i>	天蓬草	ノミノフスマ
Basellaceae (ツルムラサキ科)	ツルムラサキ	<i>Basella rubra</i>	落 莧	ツルムラサキ
Portulacaceae (スベリヒユ科)	スベリヒユ	<i>Portulaca grandiflora</i>	半支蓮	マツバボタン
		<i>P. oleracea</i>	馬齒莧	スベリヒユ
		<i>P. pilosa</i>	毛馬齒莧	ケツメクサ
Aizoaceae (ザクロソウ科)	Mollugo	<i>Mollugo pentaphylla</i>	粟米草	ザクロソウ
Amaranthaceae (ヒユ科)	イノコズチ	<i>Achyranthes japonica</i>	牛 膝	イノコズチ
		<i>A. obtusifolia</i>	土牛膝	
	ツルノゲイトウ	<i>Alternanthera ficoidea</i>	大花満天星	
		<i>A. nodiflora</i>	節節花	ホソバツルノゲイトウ
		<i>A. philoxeroides</i>	長梗満天星	
		<i>A. sessilis</i>	満天星	ツルノゲイトウ
	ヒ ユ	<i>Amaranthus lividus</i>	鳥 莧	イスビユ
		<i>A. mangostanus</i>	莧 菜	ヒ ユ
		<i>A. spinosus</i>	刺 莧	ハリビユ
		<i>A. viridis</i>	野莧菜	アオビユ
	ケイトウ	<i>Celosia argentea</i>	青 箱	ノゲイトウ
	Cyathula	<i>Cyathula prostrata</i>	飯牛膝	イノコズチモドキ
	センニチソウ	<i>Gomphrena celosioides</i>	匍千日紅	センニチノゲイトウ
Chenopodiaceae (アカザ科)	Centro アカザ	<i>Centro robrum</i>	藜	
		<i>Chenopodium acuminatum</i>	水落藜	マルバアカザ
		<i>C. album</i>	藜	シロザ
		<i>C. ambrosioides</i>	臭 杏	ケアリタソウ
		<i>C. serotinum</i>	小葉灰藊	コアカザ
	マツナ	<i>Suaeda maritima</i>	鹼 蓬	ハママツナ
Polygonaceae (タデ科)	タ デ	<i>Polygonum barbatum</i>	毛 蓼	ヒゲタデ
		<i>P. caespitosum</i> subsp. <i>yokusaianum</i>	馬 蓼	ハナタデ
		<i>P. chinense</i>	火炭母草	ツルソバ

Family	Genus	Scientific Name	Chinese Name	Japanese Name
Polygonaceae (タデ科)	タデ	<i>Polygonum glabrum</i>	紅辣蓼	オオサクラタデ
		<i>P. hydropiper</i>	水蓼	ヤナギタデ
		<i>P. japonicum</i>	鹽蒭草	シロバナサクラタデ
		<i>P. lapathifolium</i>	旱辣蓼	オオイスタデ
		<i>P. orientale</i>	荳草	オオケタデ
		<i>P. perfoliatum</i>	扛板帰	イシミカワ
		<i>P. plebeium</i>	珠子草	ヤンバルミチヤナギ
		<i>P. viscosum</i>	香蓼	ニオイタデ
	ギンギン	<i>Rumex acetosa</i>	酸模	スイバ
	<i>R. crispus</i> subsp. <i>japonicus</i>	羊蹄	ギンギン	
Urticaceae (イラクサ科)	ツルマオ	<i>Gonostegia hirta</i>	糯米團兒	ツルマオ
Saururaceae (ドクダミ科)	ドクダミ	<i>Houttuynia cordata</i>	蕺菜	ドクダミ
Capparidaceae (フウチヨウソウ科)	Pedicellaria	<i>Pedicellaria pentaphylla</i>	白花菜	フウチヨウソウ
Juncaceae (イグサ科)	イグサ	<i>Juncus leschenaultii</i>	三稜草	コウガイゼキシヨウ
Pontederiaceae (ミズアオイ科)	ホテアオイ	<i>Eichhornia crassipes</i>	布袋蓮	ホテアオイ
	ミズアオイ	<i>Monochoria vaginalis</i> var. <i>plantaginea</i>	鴨舌草	コナギ
Commelinaceae (ツユクサ科)	イボクサ	<i>Aneilema angustifolium</i>	台灣長竹葉菜	ナガバイボクサ
		<i>A. sinicum</i>	水竹葉	
		<i>Murdannia simplex</i>	細竹蒿草	
	ツユクサ	<i>Commelina benghalensis</i>	竹葉菜	マルバツユクサ
		<i>C. communis</i>	鴨跖草	ツユクサ
		<i>C. diffusa</i>	竹仔菜	シマツユクサ
	<i>C. undulata</i>	波縁竹仔菜	ナミツユクサ	
Eriocaulaceae (ホシクサ科)	ホシクサ	<i>Eriocaulon sieboldianum</i>	穀精草	ホシクサ
Lemnaceae (ウキクサ科)	アオウキクサ	<i>Lemna paucicostata</i>	青萍	アオウキクサ
	ウキクサ	<i>Spirodela oligorhiza</i>	紫萍	シマウキクサ
Cyperaceae (カヤツリグサ科)	ハタガヤ	<i>Bulbostylis barbata</i>	烟茅草	ハタガヤ
	カヤツリグサ	<i>Cyperus compactus</i>	密穗磚子苗	
		<i>C. compressus</i>	沙田草	クグガヤツリ
		<i>C. difformis</i>	球花蒿草	タマガヤツリ
		<i>C. distans</i>	疏濫草	ホウキガヤツリ
		<i>C. iria</i>	碎米莎草	コゴメガヤツリ
		<i>C. pilosus</i>		オニガヤツリ
		<i>C. polystachyos</i>	毛毯蒿草	イガガヤツリ
		<i>C. rotundus</i>	香附子	ハマスゲ
		<i>C. serotinus</i>	水莎草	ミズガヤツリ
		<i>C. tenuispica</i>	水煙花	ミズハナビ

Family	Genus	Scientific Name	Chinese Name	Japanese Name
	ハリイ	<i>Eleocharis acicularis</i> forma <i>longiseta</i>	牛毛毛	マツバイ
		<i>E. dulcis</i>	烏芋	シログワイ
		<i>E. geniculata</i>	黒子葶斎	
	テントツキ	<i>Fimbristylis aestivalis</i>		コアゼテントツキ
		<i>F. cynosa</i> subsp. <i>spathacea</i>	佛焰苞飄佛草	シオカゼテントツキ
		<i>F. dichotoma</i> forma <i>floribunda</i>	飄佛草	クグテントツキ
		<i>F. koidzumiana</i>		
		<i>Fimbristylis littoralis</i>	木虱	ヒデリコ
	クロタマガヤツリ	<i>Fuirena ciliaris</i>	毛芙蘭草	クロタマガヤツリ
	ヒメクグ	<i>Kyllinga brevifolia</i> subsp. <i>brevifolia</i>	水蜈蚣	マイダクグ
	イスクグ	<i>Mariscus cyperoides</i>	土香	イスクグ
	カワラスガナ	<i>Pycneus globosus</i>	球穗扁莎	アゼガヤツリ
		<i>P. polystachyos</i>	多枝扁莎	イガガヤツリ
	ホタルイ	<i>Scirpus juncooides</i> subsp. <i>juncooides</i>	螢蘭	イスホタルイ
		<i>S. lineolatus</i>	姫螢蘭	ヒメホタルイ
		<i>S. maritimus</i>	海荆三稜	コウキヤガラ
		<i>S. wallichii</i>	台湾野蘭	タイワンヤマイ
	ムツオレガヤツリ	<i>Torulinium ferax</i>	断節莎	ムツオレガヤツリ
<i>Gramineae</i> (イネ科)	カモジグサ	<i>Agropyron repens</i>	鵝觀草	シバムギ
	スズメノテッポウ	<i>Alopecurus aequalis</i> var. <i>amurensis</i>	看麦娘	スズメノテッポウ
	コブナグサ	<i>Arthraxon hispidus</i>	縁毛蓋草	コブナグサ
	ダンチク	<i>Arundo formosana</i>	籬竹	ヒナヨシ
	カラスムギ	<i>Avena fatua</i>	野燕麦	カラスムギ
	ニクキビ	<i>Brachiaria distachya</i>	四生臂形草	
		<i>B. mutica</i>	巴拉草	パラグラス
		<i>B. reptans</i>	臂形草	
		<i>B. subquadripara</i>	四生臂形草	ニクキビ
	クリノイガ	<i>Cenchrus calyculatus</i>	刺殼草	
		<i>C. echinatus</i>	蒺藜草	シンクリノイガ
	オヒゲシバ	<i>Chloris barbata</i>	孟仁草	タイワンヒゲシバ
	オキナワミチシバ	<i>Chrysopogon aciculatus</i>	竹節草	オキナワミチシバ
	オガルガヤ	<i>Cymbopogon toritilis</i>	香茅	オガルガヤ
	ギョウギシバ	<i>Cynodon dactylon</i>	狗牙根	ギョウギシバ
	Cytrococcum	<i>Cytrococcum patens</i>	弓果草	
	タツノツメガヤ	<i>Dactyloctenium aegyptium</i>	埃及指梳芽	タツノツメガヤ
	メヒシバ	<i>Digitaria ciliaris</i>	升馬唐	メヒシバ
		<i>D. fauriei</i>	佛欧里指草	
		<i>D. hayatae</i>	絨馬唐	
		<i>D. henryi</i>	享利馬唐	ヘンリーメヒシバ
		<i>D. longiflora</i>	鐵線草	チヤモメヒシバ
		<i>D. magna</i>	大絨馬唐	
		<i>D. microbachne</i>	大指草	イヌメヒシバ
		<i>D. radicata</i>	小馬唐	
		<i>Digitaria sericea</i>	絹毛指草	

Family	Genus	Scientific Name	Chinese Name	Japanese Name
		<i>D. setigera</i>	短穎馬唐	
		<i>D. smutsii</i>	大指草	
		<i>D. timorensis</i>	小指草	コメヒシバ
		<i>D. volascens</i>	紫果指草	マキメヒシバ
	ヒエ	<i>Echinochloa colona</i>	芒 稷	コヒメビエ
		<i>E. crus-galli</i> var. <i>austro japonensis</i>	細葉野稗	
		<i>E. crus-galli</i> var. <i>caudata</i>	水 稗	イスビエ
		<i>E. crus-galli</i> var. <i>formosensis</i>	台湾野稗	ヒメタイスビエ
		<i>E. crus-galli</i> var. <i>oryzicola</i>	水 稗	イスビエ
	オヒシバ	<i>Eleusine indica</i>	牛筋草	オヒシバ
	スズメガヤ	<i>Eragrostis anabilis</i>	鯽魚草	スカカゼクサ
		<i>E. cilianensis</i>	雀 茅	スズメガヤ
		<i>E. cumingii</i>	長畫眉草	イトスズメガヤ
		<i>E. japonica</i>	日本畫眉草	コゴメカゼクサ
		<i>E. multicaulis</i>	畫眉草	ニワホコリ
		<i>E. plumosa</i>	小畫眉草	
		<i>E. poaeoides</i>	小雀茅	コスズメガヤ
	Eremochloa	<i>Eremochloa ophiuroides</i>	小牛鞭草	チカボウシノシッペイ
	ナルコビエ	<i>Eriochloa villosa</i>	野 黍	ナルコビエ
	ウシノシッペイ	<i>Hemarthria compressa</i>	牛鞭草	コパノウシノシッペイ
	アカヒゲガヤ	<i>Heteropogon contortus</i>	紅鬚茅	アカヒゲガヤ
	チガヤ	<i>Imperata cylindrica</i> var. <i>koenigii</i>	白 茅	チガヤ
	チゴザサ	<i>Isachne globosa</i>	柳葉若	チゴザサ
	カモノハシ	<i>Ischaemum aristatum</i> var. <i>aristatum</i>	芒穂牛鞭草	タイワンカモノハシ
	サヤスカグサ	<i>Leersia hexandra</i>	李氏禾	タイワンアシカキ
	アゼガヤ	<i>Leptochloa chinensis</i>	畔 茅	アゼガヤ
	ススキ	<i>Miscanthus sinensis</i>	芭 茅	ススキ
	チヂミザサ	<i>Oplismenus compositus</i>	竹葉草	エダウチチヂミザサ
	キビ	<i>Panicum brevifolium</i>	短葉黍	ウシクサ
		<i>P. repens</i>	匍黍草	ハイキビ
	スズメノヒエ	<i>Paspalum conjugatum</i>	毛穎雀稗	オガサワラスズメノヒエ
		<i>P. dilatatum</i>	大理草	シマスズメノヒエ
		<i>P. distichum</i>	双穂雀稗	キシユウスズメノヒエ
		<i>P. orbiculare</i>	圓果雀稗	スズメノコビエ
		<i>P. purpureum</i>	象 草	
		<i>P. thunbergii</i>	雀 稗	スズメノヒエ
		<i>P. vaginatum</i>	海雀稗	サワスズメノヒエ
	チカラシバ	<i>Pennisetum alopecuroides</i>	狼尾草	チカラシバ
	イチゴツナギ	<i>Poa annua</i>	早熟米	スズメノカタビラ
	イタチガヤ	<i>Pogonatherum crinitum</i>	鼠 茅	イタチガヤ
	ヒエガエリ	<i>Polypogon monspeliensis</i>	長芒棒頭草	ハマヒエガエリ
	Rhynchelytrum	<i>Rhynchelytrum repens</i>	紅毛草	ルビーガヤ
	スメリグサ	<i>Sacciolepis indica</i>	囊穎草	ハイスメリ
	エノコログサ	<i>Setaria glauca</i> var. <i>pallide-fusca</i>	小粒狗尾草	コツブキンエノコロ
		<i>S. verticillata</i>	倒刺狗尾草	ザラツキエノコログサ
		<i>Setaria viridis</i> var. <i>minor</i>	狗尾草	エノコログサ

Family	Genus	Scientific Name	Chinese Name	Japanese Name
	モロコシ	<i>Sorghum halepense</i>	強生草	セイバンモロコシ
	ツキイゲ	<i>Spinifex littoreus</i>	濱刺草	ツキイゲ
	ネズミノオ	<i>Sporobolus fertilis</i>	鼠尾粟	ネズミノオ
		<i>S. virginicus</i>	監地鼠尾粟	ソナレンバ
	クロイワザサ	<i>Thuarea involuta</i>	濱箸草	クロイワザサ
	シバ	<i>Zoysia matrella</i>	溝葉結縷草	コウシュンシバ
<i>Alismataceae</i> (オモダカ科)	オモダカ	<i>Sagittaria pygmaea</i>	瓜皮草	ウリカワ
		<i>S. trifolia</i>	野茨菰	オモダカ
<i>Hydrocharitaceae</i> (トチカガミ科)	スブタ	<i>Blyxa shimadae</i>	女髮草	コスブタ
	クロモ	<i>Hydrilla verticillata</i>	黒藻	クロモ
	トチカガミ	<i>Hydrocharis dubia</i>	水鼈	トチカガミ
<i>Najadaceae</i> (イバラモ科)	イバラモ	<i>Naias graminea</i>	塵尾藻	ホッスモ
<i>Potamogetonaceae</i> (ヒルムシロ科)	ヒルムシロ	<i>Potamogeton crispus</i>	馬藻	エビモ
		<i>P. cristatus</i>	冠果眼子菜	コバノヒルムシロ
		<i>P. distinctus</i>	異匙葉藻	ヒルムシロ
		<i>P. pusillus</i>	絲柳藻	イトモ
<i>Marsiliaceae</i> (デンジソウ科)	デンジソウ	<i>Marsilea quadrifolia</i>	蘋草	デンジソウ
<i>Equisetaceae</i> (トクサ科)	トクサ	<i>Equisetum ramosissimum</i> var. <i>japonicum</i>	節節草	イスドクサ
<i>Salviniaceae</i> (サンショウモ科)	サンショウモ	<i>Salvinia natans</i>	槐葉蘋	サンショウモ

引用文献

- 台湾總督府民政部殖産局 台湾植物総目録 台湾總督府民政部殖産局 (1917)
- 田川基二：原色日本羊齒植物図鑑 保育社 (1959)
- 牧野富太郎：牧野新日本植物図鑑 北隆館 (1961)
- 台湾大学農学院農芸系 台湾耕地雑草 vol. 1, 2 台湾大学農学院農芸系 (1968)
- 許有土：台湾蔗田雑草防除手冊 台糖公司蔗作改良推廣委員会印行 (1968)
- 劉德霖：台湾蔗田雑草防除手冊続編同上 (1970)
- 北村四郎・村田源：原色日本之物図鑑
草本編上 保育社 (1957)
中 (1961)
下 (1964)
木本編 I (1971)
II (1979)
- 中国科学院植物研究所主編 中国高等植物図鑑 第1冊, 第2冊 科学出版社 (1972)
- 服部新佐監修・岩月善之助・水谷正美共著：原色日本蘇苔類図鑑 保育社 (1972)
- 長田武正：日本帰化植物図鑑 北隆館 (1972)
- 大井次三郎：日本植物誌 至文堂 (1972)
- 許建昌：台湾常見植物図鑑Ⅶ 台湾の禾草上・下 台湾省教育会印行 (1975)
- 杉本順一：日本草本植物総検索誌 I 双子葉編 (1978) 単子葉編 (1973) 井上書店
- 長田武正：原色日本帰化植物図鑑 保育社 (1976)
- 笠原安夫：日本雑草図説 養賢堂 (1976)
- 寺崎留吉図・奥山春季編：寺崎日本植物図譜 平凡社 (1977)
- 杉本順一：新日本樹木総検索誌 井上書店 (1978)
- 洪亮吉・呂理燦：台湾農地雑草 台北市農業商業同業公会印行 (1980)
- 林寶鑫：台湾之有害雑草 中華民國雜草学会会刊 vol. 1, No. 1. p. 81~85 (1980)